

国定公園の指定及び公園計画の決定に係る申出書の概要

長野県、岐阜県

1 公園名称

御嶽山国定公園（仮称）

（現行の公園名 長野県：御岳県立公園、岐阜県：御嶽山県立自然公園）

2 指定理由（要旨）

- ・標高 3,000m を超える火山性の独立峰であり、雄大な景観を有する
- ・頂上から麓まで連続的に自然植生が変化する様が見られる
- ・古くから山岳信仰の対象の山であり、自然と文化が融合した文化景観が見られる

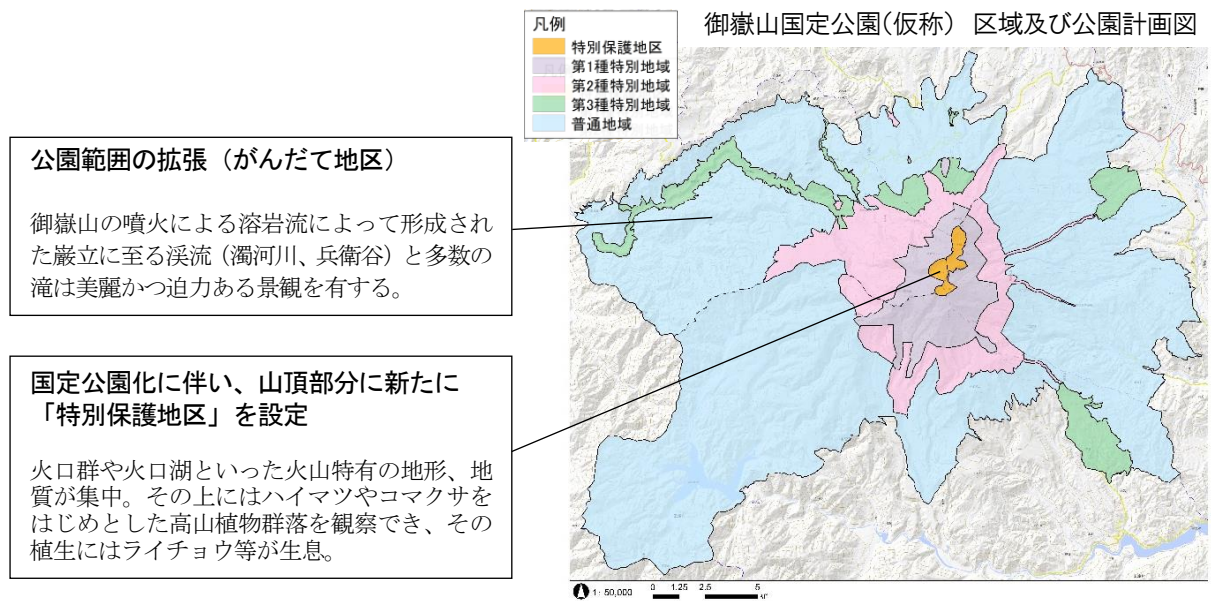


3 景観の特性（公園の特徴）

地形、地質	活火山の独立峰であり、南北約 3.2km にも及ぶ長い頂稜と、剣ヶ峰、継母岳、継子岳、摩利支天山、王滝頂上、飛騨頂上の 6 つの峰を有している。頂上の剣ヶ峰は、火山としては我が国で富士山に次ぐ標高（3,067m）を誇る各噴火口から流出した溶岩や爆発、陥没など火山作用により形成された独特な火山地形を有する。御嶽山の西側の溶岩流は先端の柱状節理「巖立」まで約 15km に及び、溶岩流上には滝が多数存在している
植生・野生生物	独立峰であることにより植生の垂直分布を連続的かつまとまった形でみることができる ・山頂付近にはオンダテやハイマツ、コマクサを始めとした高山植物群落が広がり、ライチョウやオコジョ等の希少な種の生育地となっている ・亜高山帯には、トウヒとコメツガが非常に発達した亜高山帯針葉樹林の原生林が広がる ・山麓には針葉樹の植林が広くみられ、特にヒノキ、サワラ、ネズコ、アスナロ、コウヤマキは「木曾五木」として知られ、その一部は樹齢 300 年を超える大木となって残る
文化景観	登山道を中心として各所に霊神碑や石仏等が分布するなど、自然と人の営みとが結びついた文化景観としての高い価値を有する

4 規制計画

地 種 区 分	指定面積	うち長野県	うち岐阜県
■特別地域	6,466ha	3,433ha	3,033ha
特別保護地区 山頂一帯の火山特有地形、ハイマツやコマクサなどの高山植物群落	164ha	116ha	48ha
第1種特別地域 オサバグサや亜高山針葉樹林の中のハイマツ群落	1,532ha	1,088ha	444ha
第2種特別地域 亜高山帯の針葉樹の原生林、材木滝、胡桃大滝など	3,010ha	1,491ha	1,520ha
第3種特別地域 野営場など自然との触れ合いの場や山岳信仰の場、サワラ・アスナロ林、溶岩流により形成された滝	1,759ha	738ha	1,021ha
■普通地域 上記以外の地域	21,940ha	15,436ha	6,503ha
合 計	28,406ha	18,869ha	9,536ha



5 事業計画

利用施設計画	自然体験活動計画
- 園地、休憩所、宿舎を整備し、火山景観や山岳信仰等の文化景観の探勝を推進 - スキー場、野営場、運動場、宿舎を整備し、自然体験の多様な利用ニーズに対応 - 避難小屋を整備し、火山防災に配慮した利用を推進 - 登山ルート及び自然景観・文化景観に触れ合う場として、歩道（登山道・探勝路）を整備	質の高い自然体験活動の促進に係る方針 - 活火山が育む自然資源を体感できる自然体験活動を提供 - エコツーリズムの提供や生態系・野生生物の保護への配慮 等 （具体的な取組） 御嶽崩れを観察するガイドツアー 滝群をめぐるガイドツアー 田の原湿原での再生活動 等